

マルチクラウドを採用 する前に検討すべきこと

マルチクラウドとは、異なるビジネス領域向けに、異なるクラウド サービス プロバイダーを利用することを指します。柔軟性とコスト効率を高め、革新的な機能をより広範に使用できます。しかし導入戦略を慎重に計画しなければ、複雑化してしまう可能性があります。マルチクラウドを採用する前に検討すべきことを以下にご紹介します。



01: 現在のセットアップを評価する

まず、現在のクラウド プロビジョニングに不足しているものを突き止めます。例えば、セキュリティ機能が優れている一方で使いづらいかもかもしれません。その場合、新しいインフラストラクチャの最優先課題は使いやすさとなります。



02: 各ビジネス領域の優先事項を検討する

マルチクラウドには、各ビジネス領域に合わせて最適なクラウド ソリューションを採用できるという柔軟性があります。特定のワークロードに対して必要となるクラウド サービス機能を分析しましょう。



03: ビジネス目標を再確認する

自社の目標と成長プランについて、またマルチクラウドがどのように成功を支えられるのかについて検討します。2~3年後のビジネスの変化とニーズについて考えてみましょう。



04: 予算を設定する

予算と期待されるROIを決めます。多くのプロバイダーが使用量に基づく割引や特別価格を提供しているので、購入前に調査しましょう。



05: スタッフの準備を整える

どのようなビジネス上の変化でも同じですが、確実に社員全員の賛同を得て、準備を整えるようにします。マルチクラウドを採用すると、より複雑なデータ セキュリティ ポリシーが必要となる可能性があります。社員をトレーニングする方法と、導入すべきプロセスについて計画を立てましょう。



06: 時間のかかる取り組みであることを忘れない

効果的なマルチクラウド インフラストラクチャを一晩で構築することはできません。よく準備してマルチクラウドへの取り組みを開始すると同時に、優れたテクノロジー セットアップがあれば、前進しながらイノベーションを推進し、俊敏性を高められることを覚えておいてください。